愛知中学校

Aichi junior high school

2022
School
Guide

建学の精神

「行学一体・報恩感謝」
のもとで
養う3つの力

～学びの円、繋がる縁～

教育方針

釈尊（お釈迦様）や曹洞宗の道元禅師の教えを基に、仏教を通じて豊かな人間を育てることは、愛知中学の教育方針の根本です。それは、「一人ひとりの人間は、みな、かけがえのない存在である」という普遍的な人間観に基づくところから生まれたものです。どのような時代にあっても、本校において絶えることなく引き継がれた伝統です。

校長　日下 照方

共学の進学校として

学校法人愛知学院・愛知中学校は、明治9年（1876年）に仏教の曹洞宗によって創設された伝統校です。

長年男子校としての歴史を重ねてまいりましたが、平成16年度より男女共学をスタートし、新たに「共学の進学校」をスローガンに歩んでまいりました。

時は令和、世の中は未来社会「Society 5.0」の実現を目指す時代となりました。

本校では仏教精神の教えをこれまで以上に大切にし、高度で複雑となる社会にも柔軟に対応できる人間の育成により一層の力を入れてまいります。

Aichi junior high school

今、学ぶことの理由（わけ）

■大学合格実績（令和3年度）

医歯薬獣大学の合格実績（国公立・私立）

医学部医学科	16(7)名	北海道大学、九州、三重、秋田、藤田医科、愛知医科など
歯学部歯学科	20(14)名	愛知学院大学、朝日大学、など
薬学部薬学科	57(25)名	名古屋市立大学、慶応義塾大学、東京理科大学、愛知学院大学、名城大学
獣医学部獣医学科	3(1)名	北里大学、酪農学園大学

※（　）内は6カ年

■大学合格状況　令和2年度卒業生数489名（内169名 6ヵ年）

国公立大学

※既卒生を含む

◆合格者総数

令和3年度（　）内は6ヵ年
105(27)

◆東海地方の主な国公立大学

	令和3年度（　）内は6ヵ年	過去9年間(令和2年度～平成24年度)合計（　）内は6ヵ年
名古屋大学	8	106 (36)
愛知教育大学	6 (2)	101 (16)
名古屋工業大学	8 (1)	90 (28)
静岡大学	4	61 (10)
岐阜大学	6 (1)	103 (32)
三重大学	7 (4)	86 (31)
名古屋市立大学	5 (1)	86 (24)
愛知県立大学	9 (2)	107 (24)

◆東海地方以外の主な国公立大学

	令和3年度（　）内は6ヵ年	過去9年間(令和2年度～平成24年度)合計（　）内は6ヵ年
東京大学		4　(2)
京都大学		4　(2)
大阪大学	1 (1)	8　(3)
北海道大学	7	17　(6)
一橋大学		6　(3)
東京外国語大学	1 (1)	7　(3)
お茶の水女子大学		2　(1)
横浜国立大学	2 (1)	12　(3)
金沢大学	1	15　(5)
信州大学	5 (1)	45 (12)
富山大学	1	34 (11)
高知大学	1 (1)	10　(4)

私立大学

※既卒生を含む

◆東海地方以外の私立大学

	令和3年度（　）内は6ヵ年	過去9年間(令和2年度～平成24年度)合計（　）内は6ヵ年
早稲田大学	15　(5)	117　(29)
慶応義塾大学	8　(3)	47　(24)
上智大学	11 (10)	31　(18)
東京理科大学	13　(2)	157　(60)
明治大学	18	177　(63)
青山学院大学	8　(2)	108　(38)
立教大学	12　(7)	69　(32)
中央大学	20　(4)	155　(47)
法政大学	20　(7)	129　(30)
関西大学	13　(3)	155　(40)
関西学院大学	17　(1)	137　(31)
同志社大学	35　(6)	242　(38)
立命館大学	90 (16)	609 (149)

◆東海地方の私立大学

	令和3年度（　）内は6ヵ年	過去9年間(令和2年度～平成24年度)合計（　）内は6ヵ年
南山大学	112 (30)	1126 (238)
名城大学	140 (33)	1085 (256)
中京大学	121 (20)	735 (117)
愛知医科大学	6　(2)	96　(50)
藤田医科大学	22 (10)	144　(40)

◆愛知学院大学

	令和3年度（　）内は6ヵ年	過去9年間（令和2年度～平成24年度）全学部合計（　）内は6ヵ年
全学部	113 (63)	1023 (294)
歯学部	14 (10)	
薬学部	24 (17)	

Features
〈特徴〉

他にない教育 4つの特色

創設以来、確かな学力と豊かな人間性の育成を教育の目標として追求し続けてきた愛知中学校では、他の公・私立中学にはない教育を展開しています。

1. 合理的で充実のカリキュラム

標準時間数を大きく超える時間数の授業を展開し、反復学習ときめの細かい指導で基礎学力をしっかりと定着させます。国数英の3教科は中学3年間の復習と高校の学習内容への導入のための時間を確保し、高校へのスムーズな接続が可能となっています。

2. 振り返り学習と学習意欲の向上

各授業では、学習内容への理解度を確認するために到達度確認テストを行います。また、学習に対する意識を高め、集中力を養うことを目的に、授業後に演習形式の講習を実施し、さらなる学力向上を目指します。長期休暇中には、各学期で学んだことを復習し深めるための特別講習も実施されます。

また、英語検定・漢字検定の受検を学校全体で奨励し、自ら進んで学ぶ姿勢を育て、生徒の学習意欲の向上につながるよう指導しています。

3. 課外活動と学習の両立

業後講習と課外活動に当てる曜日を分けることで、学習と部活動のバランスをとりながら授業後の時間を有効に使える環境を提供しています。授業の振り返りや演習を行う業後講習を火曜日と金曜日に、部活動や生徒会活動は月曜日、水曜日、木曜日に実施します。これによって、全員が、学習にも課外活動にもきちんと参加できるようになっています。学習と課外活動にめりはりを持たせ、生徒が主体的に諸活動に参加することを促しながら、文武両道を目指しています。約8割の生徒が部活動に参加しています。

4. 学びの実践

学んだ知識をより深化させ、実践に移す学習機会を設けています。総合学習でのフィールドワークやプレゼンテーション、社会の授業で行う新聞の切り抜き学習、文化的発表会での教科の発表、弁論大会、英語スピーチコンテストなどを通して、日頃の学習成果をより実践的な形で発表します。3年生は総合学習の発表を「卒業研究」の形にまとめます。

Aichi Voice

高校 2年

Aくん

(ラグビー部・愛知中学出身)

高校になって部活動が本格的になり、勉強に時間を割くのが難しくなりました。しかし、朝早く登校して勉強したり、授業中はもっと集中するなど、最高のパフォーマンスを出せるよう意識してきました。まだ納得のいく行動ができているとは思いませんが、意識するだけでも変わると、高校一年生の間で実感しました。みなさんも将来、部活と勉強との両立が難しいと思ったら、まず目標を立て日程を逆算し、自分のスケジュールを書き出してみると頭の中が整理され、憧れに近づけると思います。

Aichi Voice

中学 3年

Bさん

学校では、今年からタブレットを使った授業が本格的に始まりました。最初は操作が難しいなと思いましたが、色々なことができるようになりました。以前より授業もわかりやすくなり、もっと勉強を頑張りたいと思えるようになりました。私は習い事としてドラムをやっています。演奏が決まるとすごく嬉しいです。これからも学校の勉強と習い事、どちらも充実させられるように頑張りたいです。